

地域計画

策定年月日	令和6年8月1日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	東近江市 (252131)
地域名 (地域内農業集落名)	下野 (建部下野町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.6 ha
② 田の面積	24.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	24.6 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	21.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	7.1 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

①水田地帯であり平均区画面積は約20a。圃場整備は昭和60年代に完了。
②農家戸数7戸(うち、認定農業者3戸(4名):認定農業者のうち〇〇〇さんは息子である〇〇〇さんが認定新規就農者)
③農地面積24.6ha(水稻約15.3ha、麦5.2ha、黒大豆0.6ha、その他野菜等4ha)
④集落営農型法人は設立されておらず、認定農業者4名を含む個別農家8名で耕作している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・認定農業者を中心に耕作するペースが築かれており、将来に向けても集落型法人等の設立は計画していない。
・水田農業については、認定農業者の子息を中心に農地・農業の維持継続を計画している。
・一部の認定農業者は、イチゴをはじめとする施設園芸にも取り組んでおり、子息を中心とする後継者を確保したうえで営農の継続を計画している。
・一般農業者も現状を維持継続する意向。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地主と耕作者のつながりを重視しつつ、将来に向けてはより効率的な農作業が実現されるよう農地の集積を図りたい。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	97	%	将来の目標とする集積率
			97 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状をベースに認定農業者および耕作したい農業者に農用地を集約する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

現状においても認定農業者に集積されているが、分散錯圖を解消しより効率的な農地利用が実現されるよう耕作者間で話し合いを定期的にもつとともに、地主の理解のもと農地の集積をすすめられるよう集落内で協議することが必要。

(2)農地中間管理機構の活用方法

相対契約や農地利用集積円滑化事業の契約もあるが、将来的には農地中間管理機構に順次移行していきたい。

(3)基盤整備事業への取組

当面予定はないが、利用できる事業等があれば都度検討したい。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

水田農業および施設園芸については、認定農業者をはじめとする現耕作者の子息を中心に後継者を確保したい。また、新規就農者など町内や近隣で希望者がいれば積極的に受け入れたい。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

〇〇〇や作業受託組織にドローンによる農薬散布を依頼している。
また、認定農業者がJAと連携して水稻苗の硬化育苗を受託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策

☒ ②有機・減農薬・減肥料

☐ ③スマート農業

☐ ④輸出

☒ ⑤果樹等

☐ ⑥燃料・資源作物等

☐ ⑦保全・管理等

☐ ⑧農業用施設

☐ ⑨その他

【選択した上記の取組内容】

②水稻面積15.34haのうち、99%(15.188ha)は環境こだわりで生産している。
⑤ブルーベリー0.1ha、ぶどう0.154haを栽培している。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	〇〇〇	水稻・麦	1.9 ha	ha		ha	ha		後継:雅行
認農	〇〇〇	イチゴ、果樹	0.5 ha	ha	水稻・麦・イチゴ、果樹	2.4 ha	ha	赤	
認農	〇〇〇	水稻・麦・大豆・イチゴ、果樹	11.8 ha	ha	水稻・麦・大豆・イチゴ、果樹	11.8 ha	ha	青	後継:聰
認農	〇〇〇	水稻・麦・野菜	3.8 ha	ha	水稻・麦・野菜	3.8 ha	ha	赤	
認農	〇〇〇	水稻・麦	0.4 ha	ha	水稻・麦	0.4 ha	ha	緑	
利用者	〇〇〇	水稻	3.6 ha	ha	水稻	3.6 ha	ha	緑	
利用者	〇〇〇	水稻・自家野菜	0.1 ha	ha	水稻・自家野菜	0.1 ha	ha	黄土	後継:学
利用者	〇〇〇	水稻・大豆	1.7 ha	ha	水稻・大豆	1.7 ha	ha	紫	後継:真悟
			ha	ha					
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
その他			0.8 ha	ha		0.8 ha	ha		
計	8経営体		23.8 ha	0 ha		23.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	〇〇〇	ドローンによる農薬散布	麦・大豆等
2	〇〇〇	ドローンによる農薬散布	麦・大豆等
3	〇〇〇	JA水稻苗の硬化育苗受託	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。